

令和6年度第1回介護・医療連携推進会議 記録

●事業所情報

法人名	北星交通株式会社
事業所名	ホームヘルパーステーション北星

●開催日時

日時	令和6年6月12日(水) 14:30~15:30
場所	弘前市総合学習センター 2F セミナー室

●参加者(順不同)

所属	氏名
弘前市役所介護福祉課	A様
訪問看護ステーションたまち	B様
弘前総合医療センター MSW	C様
松森ケアプランセンター	D様
訪問看護ステーションふれあい	E様
訪問看護ステーションふれあい	F様
ひなたスマイル	G様
ホームヘルパーステーション北星	中西 考雄・事務職員2名

●議事

- ①運営状況の報告
- ②事例紹介
- ③外部評価の実施
- ④質疑応答

●会議録

議事①	運営状況の報告【別紙配布資料にて説明】
議事②	事例紹介【別紙配布資料にて説明】
議事③	外部評価の実施【配布資料回収】
議事④	質疑応答
E 様	医療度の高い利用者様はどの程度まで対応できるか。
中西	医療度の高い利用者様の対応は難しいと思う。喀痰吸引も難しい。
E 様	徘徊が始まるとサービス継続は難しくなるのか。
中西	実際には難しい。探し回った利用者様もいます。火の不始末等も多くなってくると、対応は難しいように感じます。
E 様	ヘルパーにとって対応が難しい案件は？
中西	物盗られ妄想で疑われたりすると難しいと感じます。本人やご家族がサービスを拒否している場合も難しいです。
E 様	夜のサービスは男性ヘルパーのみで変わらないか？
中西	変わりありません。
F 様	訪問時間は短いですか？次々と回るのですか？
中西	基本的にはそうですが、ケースバイケースで、サービス内容によって変わります。おむつ交換等があれば20分以上の対応もあります。
C 様	サービスを知りつつ、まだ詳しく分からない。退院後に利用する方もいるのか。
中西	退院調整会議に呼ばれるケースもあります。健生病院や大学病院からはありますが、後はありません。サービス導入にならなくても、呼んで頂きたいです。
C 様	連携室でもまだ、サービスを理解しきれていないが、退院時家に帰りたい人はいるので、勉強したい。
G 様	スマケアですぐに状況が分かり助かっている。ヘルパーさんのプロ意識を感じる。
A 様	運営状況について、要介護4・5の方が少ないように感じる。自宅では家族の負担が多く、施設を選ぶことが多いと施設を回っても聞くことが多い。定期巡回もそのような傾向か。
中西	同じような状況です。要介護4・5の方は、家族の負担を減らすことはできても、なくすることは厳しいと思います。
A 様	在宅で訪問看護を利用することは少ないと思う。
中西	個人的には訪問看護をもっと利用してほしいと思っています。服薬管理等、訪看さんが担ってくれれば、自分たちも安心できる。
B 様	アセスメントが少なくてさみしい。スマケアを見るとヘルパーさんの記録が詳しくて、アセスメントしやすい。
中西	申し訳ありません。
A 様	外部評価に書かれていたスマケアの利用について。情報共有の体制ができているということで良いか。状況の変化など、すぐ書き込んで対応していることで良いか。

中西	少なくとも、その日の夕方にはスマケアに入力されていると思います。状況の変化や体調不良等あった場合は、連携している訪問看護さんへすぐに相談しています。
B 様	訪問看護さんへの相談はしているのか。
中西	頻回にしています。わからないことがあれば遠慮なく電話しています。服薬管理についてなどは良く相談します。去年は、ストマの処置について、訪看さんからの説明の動画を撮らせてもらい、ヘルパーと共有しました。
E 様	ターミナルの方も対応しているのか。
中西	対応します。最短だと、自宅に帰って、翌日に亡くなった方もいます。
C 様	相談してから、サービス開始まではどの位かかるか。
中西	最短でも2日くらいはほしいです。できるだけスピーディーに対応したいと思っています。
A 様	サービス提供範囲は、事務所から30分くらいの範囲？
中西	はい。目屋などは難しいと思います。現在の利用者の状況を考えると、事務所から遠い利用者様への対応は厳しい状況です。
D 様	市内の利用者様には「長く自宅で暮らせる」と紹介しやすいです。
F 様	利用者さんが増えれば、遠くのサテライトなども可能か？
中西	ヘルパーも増えてくれば可能になってくると思います。

議事録作成	中西 考雄・事務職員2名
-------	--------------